

国際規格ISOの動向—国際会議に出席して—

■ISO/TC35/SC9/WG31 (ペイント) フィンランド国際会議

須賀 茂雄

ISO/TC35 (ペイント及びワニス) 国際会議は、2012年5月28日から31日にヘルシンキ・フィンランドにおいて開催された。主にSC9 (塗料一般試験方法) のWG31 (硬化後の性能試験) 会議に参加した。会議には、アメリカ・スイス・英国・ドイツ・オランダ・日本の6ヵ国・19名が参加した。特に弊社に関連する部分のみ報告する。

(1) ISO/DIS 16474 (耐候性試験方法)

Part 1. General guidance, Part 2. Xenon-arc lamps, Part 3. Fluorescent UV lamps, Part 4. Open-flame carbon-arc lamps 共にDIS 投票の回答期限が7月16日のため、その結果を待つ事となった。一部 Part 3に関して、放射照度の数値の訂正があった。

(2) ISO/DIS 11997-2 (光+腐食)

Annex に他の光源・腐食試験方法を含める提案を日本より行ってきた。DIS投票時のコメントを審議し、FDISへと進める事となった。

(3) ISO/CD 2813 (光沢)

光沢の定義に関して、日本からコメントを提出し了解され、DISへ進める事となった。

(4) 測色

現在、ISO/TC 256 (顔料) の分野で審議が行われている。日本からのコメントはISO/TC256で審議する事となった。次回の会議は、2013年6月にカナダにて開催予定である。

ヘルシンキは、日本から到着するとかなり寒かった。私の知っているヘルシンキはムーミンと映画の"かもめ食堂"のある場所である。行ってみたら本当に存在し、喫茶店として営業していた。日本語は通じなかったが、日本人の訪問が非常に多いそうである。もう一つの印象は、町の中に大きな岩が多かった。圧巻なのが、大きな岩をくり抜いて作ったような教会(テンペリアウキオ教会)があり、観光客がとても多くごった返していた。



テンペリアウキオ教会

■ISO/TC156/WG7 (金属及び合金の腐食) パリ国際会議

須賀 茂雄

ISO/TC156 (金属及び合金の腐食) 年次国際会議は、2012年6月11日から14日までフランス・パリにおいて開催された。主にWG7 (腐食促進試験法) 会議に参加した。会議には、スウェーデン・フランス・中国・オーストラリア・英国・チェコ・ドイツ・日本の8ヵ国・19名が参加し、次の項目について審議が行われた。

(1) ISO 9227 (塩水噴霧試験方法)

Minor Change (誤りの修正) 時に多くの技術的な指摘があったが、Minor Change のため技術的な指摘は受け入れられず、文書上の修正のみの改正となり新規にISOが発行された。

主な技術的な指摘、溶融亜鉛めっき鋼板には塩水噴霧試験は不適当である等、は別途回送中の試験方法のガイドライン(DTR 16335)に入れるべきであるとの多数意見があり、さらなるISO 9227の修正は行われたいとの結論となった。

(2) ISO/DTR 16335(腐食促進試験方法のガイドライン)
近々にDTR 16335の回送が始まるとの報告があった。

(2012年9月8日期限で回送)

(3) ISO/DIS 16539(日本からの新規提案、絶対湿度一定下でのサイクル試験)

DIS投票の投票期限が、2012年6月27日のため、結果を待つ事となった。Additional information として回送中に追加した文書が、追加文書として解るかとの指摘があったが、事務局(中国)よりその旨記載されているとの説明があった。(現在、回送結果は Approved、コメントへの対応中)

(4) ISO/DIS 16701(温湿度制御下での間歇塩水スプレー)

VOLVO社で行われている試験法が改正になり、それに伴うISOの改正である。各国からの文書上のコメントを考慮しISとする事となった。

(5) 中国からの新規提案(屋外暴露試験方法)

各国より、すでにISO 11474が存在する、試験方法が一般的でない、データが不足等々指摘があり、回送中である事からその結果待ちで、今後必要ならさらなる審議を行う事となった。(日本からは、反対の投票を行った。)

(6) 次回の会議は、2013年5月か6月にドイツで開催予定。

今後の対応

(1) ISO/DIS 16539(日本からの新規提案、絶対湿度一定下でのサイクル試験)

DIS投票結果への対応を行い、FDISへと進める。

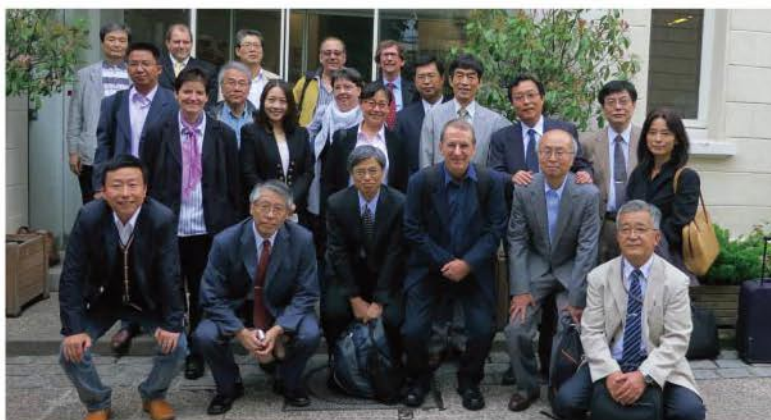
(2) ISO/DTR 16335(腐食促進試験方法のガイドライン)

対応を検討中、2012年9月8日が投票期限。



TC156/WG7会議風景

街並みになんとなく風情があるパリは、私の好きな街の一つである。今回は散策途中で、サンジェルマンの近くでとても面白いお店に当たった。ショーウィンドウに園芸道具があったので、何気なく入り、何とはなしに2階に上がってみた。なんとそこには博物館のようにライオン・象・キリン・熊・猿・鳥・さまざまな昆虫類などの剥製を売っていた。後で、ネットで調べてみたら、かなり歴史のあるお店で、パリでもっとも奇妙なお店として紹介されていた。



TC156メンバー パリ会場ESPACE LA ROCHEFOUCAULDの前で



パリでもっとも奇妙なお店と紹介の
DEYROLLE